

知の市場 第4回年次大会 動物臨床医学事例研究g・h

2013年2月7日

(公財)動物臨床医学研究所

(〒682-0025 鳥取県倉吉市八屋214-10)

山根義久

(公財)動物臨床医学研究所

組織紹介

沿革

■平成3年(1991年)4月1日:

小動物臨床研究所から財団法人鳥取県動物臨床医学研究所に移行

■平成23年(2011年)4月1日:

財団法人鳥取県動物臨床医学研究所から公益財団法人動物臨床医学研究所へ改組

当研究所は、長きに亘り動物医療全般に関わる長期間の努力を積み重ねる一方、多くの関係者の方々の温かいご支援とご理解を得て、絶えず臨床獣医界のニーズに応えながら一步一步前進しております。

目 的

この財団は、地球という一つの大きな生命の中での、動物との共生の未来を探るという崇高な理念のもと、「獣医学に関する臨床的研究を行い、併せて獣医療技術の向上のための教育と知識の普及を行うことにより、動物臨床医学の発展と、さらに、人と動物の接点の探求及び動物愛護思想の啓発普及を図り、もって社会の福祉と学術の発展に寄与する」ことを目的として発足いたしました。

事業内容

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医学に関する刊行物の発行、学会や講演会の開催などの情報提供活動、獣医医療スタッフの教育・養成などの人材育成活動、さらに野生鳥獣の保護管理による自然資源の保護など非常に広範囲の活動を続けております。

中でも最大の活動は、平成8年度より、小動物臨床研究会年次大会を発展的に解消し、日本学術会議に登録された「動物臨床医学会」と呼称する学会に移行し、年1回動物臨床医学会年次大会を開催していることでもあります。平成24年度で第33回目を迎えたこの学会には、開業医は勿論のこと、各大学の臨床系さらに基礎系及び、動物看護師、学生(獣医系・動物看護師系)に至るまで、多くの臨床獣医学に興味をお持ちの方々に多数ご参加いただき、活発な議論がなされています。

<主な事業>

1. 学術及び科学技術の振興を目的とする事業

- ・学会、セミナー及びカンファレンス等の開催、運営
- ・定期刊行物、各種資料(プロシーディング等)の発刊
- ・その他

2. 公衆衛生の向上及び児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

- ・市民公開講座の開催及び情報提供
- ・障害者支援のための補助犬(盲導犬等)の育成支援
- ・動物の愛護と福祉及び情操教育普及を目的とした「人と動物の会」による動物ふれあいセンターの運営
- ・その他

3. 資料及び情報収集・提供事業

- ・ニュースレターの発刊
- ・ホームページでの情報提供
- ・その他

4. 地球環境の保全又は、自然環境の保護及び整備を目的とする事業

- ・野生動物の保護及び管理
- ・野生生物センターの維持及び管理
- ・その他

知の市場「合同カンファレンス」 教育活動の趣旨

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがある。しかし、急速な発展の中にはひずみが発生しているのも事実である。医療は生き物的要素があり、急速な変化に対応不能な面もある。

当研究所では、長年に亘り合同カンファレンスを開催し、特別講演では臨床獣医学のありようを再考するとともに、症例検討では、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証し、そのありようを検討してきた。

今後も、ベテランと若手の獣医療従事者の情報交換の場であり、また、各病院の情報交換の場として日々の診療に役立つ情報を共有できる場となるよう開催する。

2013年度開講内容

前期<5日間(15講義:2単位)>

下記のとおり基礎から応用までの講演と、症例検討(外科的疾患・内科的疾患)で構成して行う。

■2013年4月21日(日)9:30~15:10【3講義】

・内 科:副腎皮質機能亢進症の診断と治療

講師:白永伸行(シラナガ動物病院)

・症例検討:外科的疾患の検討

・症例検討:内科的疾患の検討

■2013年5月26日(日)9:30~15:10【3講義】

・再生医療:再生医療、医学から獣医学へ、そして獣医学から医学へ

講師:伊藤典彦(東京工業大学)

・症例検討:外科的疾患の検討

・症例検討:内科的疾患の検討

■2013年7月28日(日)9:30～15:10【3講義】

・整形: 橈尺骨骨折—プレート固定を中心に—

講師: 櫻田 晃(さくらだ動物病院)

・症例検討: 外科的疾患の検討

・症例検討: 内科的疾患の検討

■2013年8月25日(日)9:30～15:10【3講義】

・血液: 一次診療の現場で知っておきたい造血器腫瘍の基礎知識
—慢性骨髄増殖性疾患—

講師: 下田哲也(山陽動物医療センター)

・症例検討: 外科的疾患の検討

・症例検討: 内科的疾患の検討

■2013年9月29日(日)9:30～15:10【3講義】

・眼科: 目が痛い

講師: 山形静夫(山形動物病院)

・症例検討: 外科的疾患の検討

・症例検討: 内科的疾患の検討

後 期<4日間(15講義:2単位)>

下記のとおり基礎から応用までの講演と、症例検討(外科的疾患・内科的疾患)で構成して行う。

■2013年10月27日(日)9:30~16:50【4講義】

- ・外 科 1:犬猫の門脈体循環シャントの診断
- ・外 科 2:犬猫の門脈体循環シャントの治療

講師:小出和欣(小出動物病院)

- ・症例検討:外科的疾患の検討
- ・症例検討:内科的疾患の検討

■2014年1月26日(日)9:30~15:10【3講義】

- ・循 環 器:循環器薬の基本的な使い方

講師:山根 剛(動物臨床医学研究所)

- ・症例検討:外科的疾患の検討
- ・症例検討:内科的疾患の検討

■2014年2月16日(日)9:30～16:50【4講義】

- ・エキゾチック哺乳類の診療1:診療対象動物と身体検査
- ・エキゾチック哺乳類の診療2:診断と治療

講師:加藤 郁(加藤どうぶつ病院)

- ・症例検討:外科的疾患の検討
- ・症例検討:内科的疾患の検討

■2014年3月23日(日)9:30～16:50【4講義】

- ・循環器 1:インターベンションによる循環器疾患の治療1
- ・循環器 2:インターベンションによる循環器疾患の治療2

講師:高島一昭(動物臨床医学研究所)

- ・症例検討:外科的疾患の検討
- ・症例検討:内科的疾患の検討

当該年度までの開講実績

■2010年度(平成22年度)前期 科目No.ZY222a

〈受講者数:69名〉

| 出席者平均 | 小レポート提出平均 | アンケート総平均 |
|-------|-----------|----------|
| 41.4 | 36.4 | 4.4 |

■2010年度(平成22年度)後期 科目No.ZY222b

〈受講者数:78名〉

| 出席者平均 | 小レポート提出平均 | アンケート総平均 |
|-------|-----------|----------|
| 37.7 | 35.5 | 4.4 |

■2011年度(平成23年度)前期 科目No.ZY222c

<受講者数:65名>

| 出席者平均 | 小レポート提出平均 | アンケート総平均 |
|-------|-----------|----------|
| 38 | 27.7 | 4.4 |

■2011年度(平成23年度)後期 科目No.ZY222d

<受講者数:64名>

| 出席者平均 | 小レポート提出平均 | アンケート総平均 |
|-------|-----------|----------|
| 39.4 | 24.9 | 4.6 |

■2012年度(平成24年度)前期 科目No.ZY222e

<受講者数:67名>

| 出席者平均 | 小レポート提出平均 | アンケート総平均 |
|-------|-----------|----------|
| 39.2 | 25.9 | 4.6 |

当該年度までの問題点及び 今後の対応策・将来計画

開催地が鳥取であるため、冬の参加者（後期）が少なくなる傾向にある。車での参加が多いため、致し方ない問題点と言える。

その他、抱負や課題など

これまでの経験を踏まえ、次年度より開講科目を充実させ、併せて聴講者も幅広く募集する。